

神戸市建築協力会 令和元年度の出動訓練を実施

6月19日午前7時30分から みなとのもり公園で

神戸市建築協力会（会長、奉仕隊長・松岡克彦氏、湊建設工業(株)代表取締役社長 会員数28社）は、6月19日（水）、午前7時30分から約30分、神戸市中央区小野浜町の「みなとのもり公園」（神戸震災復興記念公園）において、令和元年度の出動訓練を実施した。

例年実施しているこの早朝出動訓練は、神戸市と「災害時における応急対策業務に関する基本協定」を結んでいる同協力会が、応急対策業務の一つとして、前日の指令伝達訓練と当日早朝の出動訓練を実施することにより、災害に対する意識の向上と確固たる体制づくりを図り、万一の事態に備えるためのものである。

訓練には、同協力会から災害奉仕委員会委員、各社奉仕隊員ら140名が参加。

神戸市（災害対策本部）からは、山平晃嗣危機管理監、馬場栄二危機管理室室長、末若雅之危機管理室総務担当課長、山根正利建築住宅局技術管理課長、桑村佳孝行財政局財政部契約監理課長、日出嶋武危機管理室総務担当係長、斉藤稔危機管理室総務担当が参加した。

出動訓練は、各班各隊の人員点呼、松岡奉仕隊長から市災害対策本部長の山平危機管理監への出動人員数報告、松岡隊長が先導しての市災害対策本部長らによる巡視・点検と進んだ。続いて、松岡隊長の講評、山平市災害対策本部長の挨拶、堀本奉仕隊副隊長の閉会の挨拶があり、最後に出動者全員でみなとのもり公園周辺のクリーン作戦を行って訓練は終了した。

【松岡会長（奉仕隊長）の講評】

奉仕隊のみなさんの平素のご努力に心から敬意を表します。本日の出動訓練ですが、全員が所定の時刻に敏速に集結をいたしました。これは、みなさまの力強い結束力の賜物であり、大変心強く思っております。

また、号令のかけかた、手・足などの体の動きは、きびきびとして、すばらしかったです。班長をはじめ、小隊長、分隊長による各隊の部下の掌握も的確でした。

神戸市民防災総合センターでの規律訓練の成果を十分に発揮していただきました。隊員の服

装、装備も良好であります。今後、起こりうる災害の時には、神戸市や神戸市民の期待に添えるよう、より一層の訓練を重ねていただきたいと思います。本日は、ご苦労さまでした。

【市災害対策本部長山平危機管理監の挨拶】

昨日も新潟で地震がございましたが、災害に対しましては、昨年の台風21号によりまして六甲アイランドを中心に高潮被害、また、東川崎を中心とした冠水被害がおっております。これらにつきまして、我々は、災害に強い防潮堤として強靱化や嵩上げを行うとともに、自動で鉄扉が開閉できるようなシステムを整備しているところがございます。このようにハード面につきましては国、県、市が一体となって市民の安全・安心を守るための整備をすすめております。また、ソフト面につきましては、昨年起りました災害の反省教訓も沢山ございます。これらにつきましては、地域防災計画、あるいは各種マニュアルに反映させるとともに、本日、皆様方が行っていただきました日頃からの防災訓練、市民、事業者の皆様への教育、啓発が非常に重要でございますので、引き続きこういふところにも力を入れて参ります。去年の災害時、特に大雨の時、避難指示や避難勧告が出たにもかかわらず、実際に非難された方が非常に少なかったということで、今年度から全国的に非難レベルの発信方法が変わっています。非難レベル1～5という数字で表示、この非難レベルの数字がいくらかによって必ず非難していただく態勢になっています。非難レベル1～2は気象庁が発信します。非難レベル3につきましては、高齢者と避難所へ行くのに時間のかかる方に早めに非難をしていただく。非難レベル4は全員非難、それからレベル5につきましては、既に被害が発生した状況で、命を守る行動に移っていただく。このような非難レベルのデジタル化により、直感的に非難対応できるように努めていくという主旨でございますので、どうか協力会の皆様にも会社内、家庭内におきまして、このような仕組みについて周知徹底をお願いしたいと思います。来年の1月には、阪神淡路大震災か

ら25年を迎える年になります。さきほどのお話にもありましたように南海トラフ地震はこの30年の間に7～8割の確率でやってくるとされております。これらについてもたとえ起こったとしても被害を最小限におさえる減災といく

考え方を取り入れて、皆様方と協力して対応して行きたいと考えておりますので、引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。本日は本当にご苦労様でした。



●松岡克彦会長（奉仕隊長）



●山平晃嗣危機管理監

●写真/横 神戸市災害対策本部長 巡視、点検の様様

●写真/下 各隊 人員点呼の様様

